



第164号
令和2年1月1日
発行所
一般財団法人 広島県遺族会
〒730-0036
広島市中区袋町1番21号
電話 082 (247) 1216
FAX 082 (247) 1397
発行責任者 篠原 彌之
編集責任者 佐々木 幸雄
印刷所 樹文化社

新年のご挨拶



一般財団法人 広島県遺族会
会長 篠原 彌之

新年あけましておめでとうござい
ます。
ご遺族の皆様方には、令和二年の
新春をお健やかに迎えのことと心
からお慶び申し上げます。



遺族会館全景

旧年中は当遺族会に對しまして、
あたたかいご理解とご支援を賜り誠
にありがとうございます。
戦没者遺族の処遇改善につきまし
ては、昨年十二月九日に開催された
全国戦没者遺族大会等による働きか
けにより日本遺族会が国へ要望した
事項は、ほぼ満たされたものとなっ
ています。

これからも戦没者遺児による慰霊
友好親善事業の充実、特別弔慰金の
受給要件の緩和(孫・曾孫への支給)、
遺骨収集帰還事業の拡充強化等の諸
問題の解決に向けて、日本遺族会の
活動を支援していかねければなりま

せん。

英霊顕彰運動の根幹であります内
閣総理大臣の靖国神社参拝につきま
しては、今後、信念を貫かれ、内外
の批判に屈することなく、毅然とし
た態度で参拝していただけるものと
信じております。

県内各遺族会における英霊の顕彰
運動も、遺族の皆様と行政の連携に
より、厳粛に執り行われています。
行政のご理解とご協力を敬意を表す
る次第であります。昨年は、各遺族

謹賀新年

- | | | | | | | | | | | |
|--|--|--|--|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 兼女性部副部長
同
同
同
同
同
同
同 | 兼青年部副部長
同
同
同
同
同
同
同 | 兼女性部長
同
同
同
同
同
同
同 | 兼青年部長
同
同
同
同
同
同
同 | 常務理事 | 副会長 | 会長 | | | | |
| 山根 榮子 | 河本 智登里 | 中根 律子 | 廣田 昭彦 | 古川 巖 | 栗原 信明 | 橋本 直吉 | 上松 英邦 | 小西 照枝 | 平田 修己 | 篠原 彌之 |

会の慰霊祭・追悼式に出席させていただきます。戦没者へ哀悼の意を表すとともに会員の皆様とも親しくお話しすることが出来ました。

遺族会も、会員の高齢化が進み、孫・曾孫会員の加入が喫緊の課題となっております。昨年十一月には日本遺族会主催の青年部研修会が開催され、当会から青年部長及び副部長二名が、靖国神社正式参拝・遊就館及び昭和館の見学等の研修に参加しました。

県内各遺族会の組織を継続させ、孫・曾孫も慰霊友好親善事業でご英霊の戦没地を訪問できるようにするため、会員一人々が孫・曾孫の協力を求めていただくとともに、一日も早く各遺族会で後継者となる青年部役員を選任していただきたいと思っております。

当会の主要事業であります「戦没者を語る会」につきましては、広島県の助成により、四月に三次市遺族会連合会及び八月には福山市遺族会において、また、十二月には広島市内で開催した女性部研修会において、第十回目を実施しました。平成二十七年から始めたこの会の講師も八十名となり、ホームページに後世に引き継ぐ貴重な資料が蓄積されつつあります。また、ホームページについては、

当該年度の日本遺族会及び当遺族会実施の各種事業を紹介し、申請用紙等も入手できるようにしています。これまで各会長、女性部長、事務局に文書で連絡していた情報がホームページの利用により、随時手元に届くようになりましたので、ご家族等の協力を得ながら是非とも活用していただきますようお願いいたします。

昨年「ひろしまの塔」戦没者追悼式は、十一月十五日に広島県健康福祉局社会援護課熊野智課長出席のもとで実施していただきました。参列遺族二十六名が南方で散華されたご英霊を偲び、平和に対する思いを新たにすることができました。

今後とも英霊の顕彰を絶えることなく継続させ、戦争の無い平和な世界実現の願いを、戦後に育つた人々に伝えていくための中心的な団体として、遺族会を存続させなければならぬと思っております。

私も当面する問題を解決するため、全力を尽くして参る所存でありますので、皆様方の一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。新年に当たり、ご遺族の皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

新年のごあいさつ



広島県健康福祉局長

田中 剛

新年明けましておめでとうございます。御遺族の皆様には、お健やかに新しい年を迎えられたことと、心からお慶び申し上げます。

一般財団法人広島県遺族会におかれましては、創立以来、会員の皆様強い結束のもとに、戦没者の慰霊や御遺族の福祉の増進等の各種事業を積極的に推進されるとともに、戦争の悲惨さ、平和の尊さを次世代に伝えていくための取り組みをされておられることに対しまして、深く敬意を表します。

昨年は、ローマ教皇の広島・長崎の訪問が実現し、あらためて核兵器のない平和な世界の実現に向けて、すべての国や人々が力をあわせて行動することの必要性について、メッセージが発信されました。

今年も、先の大戦が終結して、七十五年の節目の年を迎えます。

県といたしましても、引き続き国と連携を図りながら、今日の繁栄の礎となられた戦没者の方々に深く思いをいたし、戦没者の御遺族に対する援護事業の充実にむけ取り組んで参ります。

今後とも、会長を始めとする会員の皆様の一層の、御理解と御支援をいただきますようお願い申し上げます。

年頭にあたり、貴会のみならずの御発展と、会員の皆様の御健勝を心からお祈り申し上げます。新年のごあいさつといたします。

遺族会の動き(予定)

令和二年二月二十一日(金曜日) 常務理事会

令和二年三月五日(木曜日) 第十九回理事会

令和二年三月二十三日(月曜日) 第十四回評議員会

令和二年八月二十五日(土曜日) 全国戦没者追悼式団体参列

令和二年十一月六日(金曜日)、募集予定 四十名

令和二年十一月六日(金曜日)、募集予定 四十名

十三日(金曜日)の間の一日 沖繩「ひろしまの塔」戦没者追悼式旅行日は、式典日を含む三日間 募集予定 八十名

「第七十五回全国戦没者遺族大会」

令和元年十二月九日に自由民主会館八階ホールで開催されたこの大会に、篠原 彌之会長他役員等六名が参加し、大会終了後、要望事項に対する理解と協力を要請する陳情運動を地元選出国会議員に行った。

重点陳情先(本人面会)

自由民主党政務調査会長
衆議院議員 岸田 文雄氏 (自由民主党政調会長室面会)

(自由民主党地元選出国会議員)

区分	氏名	遺族大会	陳情
衆議院議員	寺田 稔氏	欠席	秘書対応
	平口 洋氏	欠席	秘書対応
	河井 克行氏	欠席	秘書対応
	新谷 正義氏	欠席	秘書対応
	小島 敏文氏	出席	本人対応
	小林 史明氏	欠席	秘書対応
	畦元 将吾氏	欠席	秘書対応
参議院議員	宮沢 洋一氏	欠席	本人対応
	河合あんり氏	欠席	秘書対応

「大会の概要」

一 参加者 四八〇名
自由民主党代表 総務会長 鈴木 俊一氏
総務大臣 高市 早苗氏

厚生労働大臣 加藤 勝信氏
遺族議員協議会会長 尾辻 秀久氏
一億総活躍・沖縄北方担当大臣 衛藤 晟一氏

衆参国会議員 二〇一名

現在の厳しい財政状況のなか、公務扶助料、遺族年金等の改善をはじめ、厚生労働省社会・援護局提出の概算要求の完全実現を目指し、四七都道府県遺族会の代表が東京・自由民主会館ホールに参集し、自由民主党所属の衆参国会議員の先生方を来賓に招いて遺族大会が開催された。

開会の言葉で宇田川 劔雄副会長が宣し、国歌斉唱について、靖国の杜に鎮まる二四六万六千余柱のご英霊に感謝の黙祷を捧げた。

次に、水落敏栄会長挨拶、来賓あいさつをいただいた後、会議に入り、青年部長 辻 正人氏から意見発表が行われた。

続いて、大会宣言及び決議が満場一致で採択された。
(詳細は、日本遺族通信 令和二年一月十五日号をご覧ください。)

第75回全国戦没者遺族大会

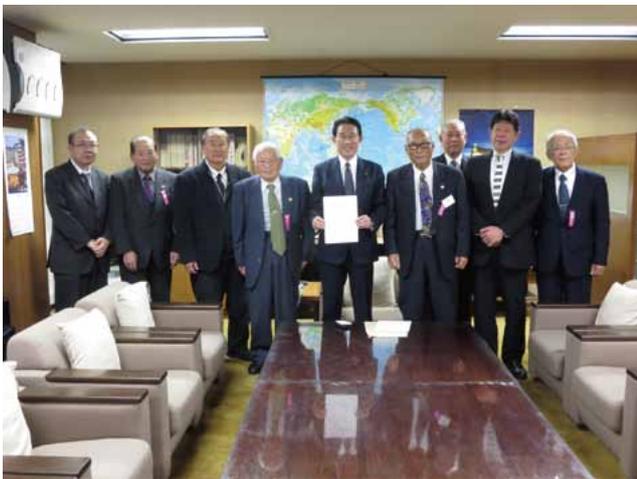
主催 一般財団法人 日本遺族会
日時 令和元年12月9日(月)午後2時30分
場所 自由民主会館8階ホール

大会スローガン

- 一、総理、閣僚等の靖国神社参拝の定着をはかること。
- 二、国立の戦没者追悼施設新設構想は、断固阻止すること。
- 三、戦没者遺族に対する処遇は、国家補償の理念に基づき改善すること。
- 四、特別弔慰金の支給要件の緩和について検討すること。
- 五、慰霊友好親善事業の充実と遺骨収集事業の拡充強化をはかること。
- 六、国内の民間建立戦没者慰霊碑を維持管理し、後世に残すこと。
- 七、全国戦没者追悼式への国費参列者の増員並びに旅費算定を見直すこと。
- 八、平和の尊さを次世代に語り継ぐため、「青年部」の活動を積極的に推進すること。

次第

- 一、開会の辞
- 二、国歌斉唱
- 三、黙 禱
- 四、会長挨拶
- 五、議長選出
- 六、意見発表
- 七、宣言(案)採択
- 八、決議(案)採択
- 九、来賓挨拶
- 十、萬歳三唱
- 十一、閉会の辞



岸田文雄 政務調査会長陳情

戦没者遺族処遇に関する要望

I. 公務扶助料、遺族年金等の改善

尊い一命を国家に捧げた戦没者の遺族に対する公務扶助料等は、他の公的年金とは性格をことにするもので、あくまでも国家補償の理念に基づいて改定されるべきであります。戦没者遺族の今日までの歩みに配慮し、高齢化著しい実情等を考慮され、公務扶助料等を増額改定するよう制度の確立を要望いたします。

なお、特別扶助料等の支給については、受給対象者の年齢、受給者数等を考慮して、公務扶助料等と同額にさせていただきますよう要望いたします。

II. 厚生労働省社会・援護局提出概算要求の完全実現

次の各項は厚生労働省社会・援護局より概算要求として提出されています。完全実現をお願いいたします。

1. 戦没者等の遺族に対する特別弔慰金の支給 (支給対象件数 約85万件)	本年度予算額	5億3,700万円	→	概算要求額	12億2,800万円
2. 遺骨収集事業等の推進	本年度予算額	23億6,100万円	→	概算要求額	29億6,900万円
(1) 硫黄島遺骨収集事業 ・滑走路地区の面的調査等	本年度予算額	13億5,900万円	→	概算要求額	13億6,400万円
(2) 南方・旧ソ連地域遺骨収集事業 ア 現地調査	本年度予算額	7億5,500万円	→	概算要求額	10億4,700万円
	本年度予算額	3億2,600万円	→	概算要求額	5億円
【実施地域】	①フィリピン(5班→8班) ②東部ニューギニア(6班→7班) ③ビスマルク・ソロモン諸島(ブーゲンビル島・ガダルカナル島等、6班→7班) ④マリアナ諸島(グアム島・北マリアナ諸島、3班→6班) ⑤マーシャル諸島(新規2班) ⑥インド(1班→4班) ⑦その他南方地域(新規3班) ⑧インドネシア(5班) ⑨パラオ諸島(2班) ⑩ミャンマー(5班) ⑪旧ソ連地域(9班→10班)				
イ 遺骨収集 【遺骨収集実施地域】	本年度予算額	3億200万円	→	概算要求額	4億1,700万円
	①フィリピン ②東部ニューギニア③ビスマルク・ソロモン諸島(ブーゲンビル島・ガダルカナル島等) ④インドネシア ⑤パラオ諸島 ⑥マリアナ諸島(グアム島・北マリアナ諸島) ⑦トラック諸島 ⑧マーシャル諸島 ⑨ギルバート諸島 ⑩ミャンマー ⑪インド ⑫樺太 ⑬沖縄 ⑭硫黄島 ⑮その他南方地域 旧ソ連地域(⑯ハバロフスク地方 ⑰沿海地方 ⑱ザバイカル地方)				
ウ 法人運営経費	本年度予算額	1億2,700万円	→	概算要求額	1億3,000万円
(3) 海外公文書館等の資料収集	本年度予算額	2,300万円	→	概算要求額	1,700万円
(4) 遺骨の鑑定	本年度予算額	1億9,100万円	→	概算要求額	5億700万円
ア 鑑定実施体制の充実	本年度予算額	1億8,300万円	→	概算要求額	3億4,000万円
(ア) DNA鑑定に係る体制の充実	本年度予算額	1億4,800万円	→	概算要求額	2億4,000万円
	㊦戦没者遺骨専用のDNA鑑定機器の導入・DNA鑑定料の引き上げ				
(イ) 形質人類学的鑑定に係る体制の充実	本年度予算額	3,500万円	→	概算要求額	9,900万円
	㊦令和2年度からは、遺骨鑑定人を、遺骨収集に加え現地調査及び埋葬地調査にも派遣				
イ 戦没者遺骨に関する研究の推進	本年度予算額	800万円	→	概算要求額	1億6,800万円
	㊦次世代シーケンサによるSNP分析に係る研究委託 ㊦形質人類学的鑑定に係る研究委託・安定同位体比分析に係る研究委託				
(5) 遺骨・遺留品伝達 内、戦没者遺留品の返還に伴う調査一式 1,200万円	本年度予算額	3,300万円	→	概算要求額	3,400万円
3. 戦没者慰霊事業等	本年度予算額	5億7,200万円	→	概算要求額	5億9,400万円
(1) 全国戦没者追悼式挙行経費 国費負担参列遺族の増員(各都道府県55人→60人)	本年度予算額	1億5,100万円	→	概算要求額	1億6,200万円
(2) 慰霊巡拝等 ア 慰霊巡拝	本年度予算額	4億3,500万円	→	概算要求額	4億3,300万円
	本年度予算額	1億円	→	概算要求額	9,800万円
【慰霊巡拝実施地域】	①フィリピン ②東部ニューギニア ③ビスマルク・ソロモン諸島(ブーゲンビル島・ガダルカナル島等) ④トラック諸島 ⑤インドネシア ⑥ミャンマー ⑦中国 ⑧硫黄島 旧ソ連地域等(⑨ハバロフスク地方 ⑩沿海地方 ⑪イルクーツク州・ブリヤート共和国 ⑫カザフスタン)				
イ 政府建立慰霊碑の補修等	本年度予算額	5,400万円	→	概算要求額	5,400万円
ウ 海外・国内民間慰霊碑の管理	本年度予算額	2,200万円	→	概算要求額	2,200万円
(ア) 海外民間建立慰霊碑	本年度予算額	1,000万円	→	概算要求額	1,000万円
(イ) 国内民間建立慰霊碑	本年度予算額	1,200万円	→	概算要求額	1,200万円
エ 戦没者遺児による慰霊友好親善事業 ・広域地域 14地域 ・特定地域 3地域 ・人員 広域792人及び 特定地域108人	本年度予算額	2億5,900万円	→	概算要求額	2億5,900万円
4. 昭和館事業	本年度予算額	4億8,000万円	→	概算要求額	6億1,100万円
(1) 昭和館の運営に掛かる経費	本年度予算額	4億8,000万円	→	概算要求額	5億100万円
(2) ㊦昭和館設備の特別修繕に係る経費	本年度予算額	0円	→	概算要求額	1億1,100万円

全国戦没者追悼式団体参列

令和元年八月十五日、日本武道館において、天皇皇后両陛下のご臨席を仰いで、全国戦没者追悼式が行われました。県遺族会から篠原 彌之会長を団長として三十九名が参列しました。

前日の十四日に上京、東京都内に宿泊し、翌十五日の当日は靖国神社に昇殿参拝を行った後、記念撮影を行い日本武道館に入場した。

式典は各都道府県からの遺族参列者等約六千二百人が参列し、十一時五十一分に天皇皇后両陛下がご臨場され、国歌斉唱、安倍内閣総理大臣の式辞、黙祷の後、天皇陛下のおことばがあり、初めて臨まれた全国戦没者追悼式の式典で、令和の時代も平和が続くことを願われた。その後、各界の追悼の辞、献花が行われて滞りなく閉会した。

式典終了後、名古屋市に移動し、翌日、伊勢神宮にお参りした後、帰路についた。

天皇陛下おことば

令和元年八月十五日（木）日本武道館
全国戦没者追悼式

本日、「戦没者を追悼し平和を祈念する日」に当たり、全国戦没者追悼式に臨み、さきの大戦において、かけがえのない命を失った数多くの人々とその遺族を思い、深い悲しみを新たにいたします。

終戦以来七十四年、人々のたゆみない努力により、今日の我が国の平和と繁栄が築き上げられました。多くの苦難に満ちた国民の歩みを思うとき、誠に感慨深いものがあります。

戦後の長きにわたる平和な歳月に思いを致しつつ、ここに過去を顧み、深い反省の上に立って、再び戦争の惨禍が繰り返されぬことを切に願い、戦陣に散り戦禍に倒れた人々に対し、全国民と共に、心から追悼の意を表し、世界の平和と我が国の一層の発展を祈ります。



天皇陛下「おことば」

沖縄『ひろしまの塔』戦没者追悼式団体参列

令和元年十一月十四日、篠原 彌之会長を団長とする二十六名の参列団は、沖縄に到着後に沖縄護国神社を参拝し、那覇市内に宿泊した。

追悼式当日の十五日は、午前十時から挙行された追悼式に参列した。追悼式には、沖縄県知事（代理）を始め、六名の来賓が出席された。

式典は、知事式辞を熊野 智広島県社会援護課長が代読された。続いて篠原 彌之団長から追悼の辞が述べられ、その後、参列者全員の献花が行われ追悼式は、滞りなく終了した。

その後、那覇空港から台湾に移動し、台中市内の日本人墓地にて全員が線香を供えた。その後、台北市内の視察を終え、十八日に那覇空港経由で、全員無事広島空港に到着し、参列を終えた。

一「ひろしまの塔」の概要
昭和四十二年三月 知事、県議会議長を世話人とする「ひろしまの塔」を建設するための広島県戦没者沖縄慰霊塔建設委員会が発足
が完成、除幕式

二 昭和四十三年五月 完成、除幕式
合祀者等

- ① 合祀者数 三万四千六百三十五柱
- ② 合祀者の範囲 昭和十六年十二月八日以降のいわゆる太平洋戦争での戦没者。
- ③ 戦死者の範囲 フイリッピン 九千九百八十八柱、東部ニューギニア 九千六百六十五柱、ビスマーク・ソロモン諸島 八千八百四十一柱、ビルマ・インド 千四百六十二柱、沖縄・南西諸島 千二百七十一柱、ベトナム等 九百六十四柱、硫黄島 七百八十七柱



熊野 智 社会援護課長式辞（代読）



篠原 彌之 団長 追悼の辞

第八回「戦没者を語る会」の開催

平成三十一年四月十九日に三次市遺族会連合会において、第八回「戦没者を語る会」が実施されました。当日は、三次福祉保健センター「ふれあいホール」に会員六十五名が出席し、亀井源吉会長挨拶の後、講師五名により盛大に実施されました。



第八回「戦没者を語る会」講師

第8回「戦没者を語る会」(三次市遺族会連合会) 講師一覧表

順番	区分	原作者	講師	氏名	演題
1	会員	◎	◎	田中克章	父への報告
2	〃	◎	◎	平田昭佳	太平洋戦争と私
3	〃	◎	◎	吉原勤	母を想う
4	〃	◎	◎	竹内克彦	太平洋戦争の末期を語る
5	〃	◎		山田正	母を想う
6	〃		◎	小田義則	同上 代読

第九回「戦没者を語る会」の開催

令和元年八月三十日に福山市遺族会において、第九回「戦没者を語る会」が実施されました。当日は、人権平和資料館に会員五十名が出席し、篠原彌之会長挨拶の後、講師八名により盛大に実施されました。



第九回「戦没者を語る会」講師

第9回「戦没者を語る会」(福山市遺族会) 講師一覧表

順番	区分	原作者	講師	氏名	演題
1	会員	◎	◎	藤井幸子	私の母
2	〃	◎	◎	開原満郎	姿見ぬ父に会えた不思議な出来事
3	〃	◎	◎	河本都子	靖国の父
4	〃	◎	◎	岡本邦夫	母の思い出
5	〃	◎	◎	藤井亮治	戦争体験記「祖父から聞いた話」
6	〃	◎	◎	小川正光	戦没者を語る会によせて
7	〃	◎	◎	小川吉弘	父親のいない昭和20年頃の生活苦
8	〃	◎	◎	片岡忠義	姉に聞いた話

「女性部研修会」及び「第十回戦没者を語る会」の開催

令和元年度女性部研修会は、

広島市南区のホテルニューヒロ

デンにおいて十

二月九日・十日

の両日にわたり、

小西 照枝副会

長並びに橋本

直常務理事及び

各支部からの出

席者等五十八名

により、盛大に

実施された。

当日は小西

照枝副会長兼女

性部長の挨拶の

後、講師十名に

よる「第十回戦

没者を語る会」

を実施した。

翌十日は、広島

護国神社に正式

参拝を行った。

第10回「戦没者を語る会」講師一覧表

番号	地区区分	区分			所属	氏名	演題
		原作者	講師	補助			
1	1	◎	◎		三次市遺族会連合会	福島 至	戦没者慰霊碑の修繕について
2	1	◎	◎		三次市遺族会連合会	酒井 敬忠	父にかかわる私の履歴書
3	1	◎	◎		三次市遺族会連合会	片岡 征治	厳しい自然環境とも戦った父
4	1			◎	三次市遺族会連合会	深見 俣子	
5	3	◎	◎		東広島市遺族連合会	腰本 直治	亡き父の戦没地 中国を訪ねて
6	3			◎	東広島市遺族連合会	小西 照枝	
7	4	◎	◎		世羅町遺族会	織田 晃博	「沖縄戦跡慰霊巡拝」に参加して
8	5	◎			尾道遺族会	石川 豊	黙っては死なれない！ 言っておかなければ・・・
9	5		◎	◎	尾道遺族会	宮沢緋佐子	同上 代読
10	5	◎	◎		向島町遺族会	林原 透	平和への祈り
11	5	◎			瀬戸田町遺族会	森田 淳子	見知らぬ叔父の追悼
12	6		◎		福山市遺族会	中根 律子	同上 代読
13	6	◎	◎		福山市遺族会	河本 都子	靖国の父
14	6			◎	福山市遺族会	落合 久子	
15	7	◎	◎		神石高原町遺族会	江草 泰子	戦争と私の家族
16	7			◎	神石高原町遺族会	山根 榮子	

訃報

織田 晃博 氏

元 世羅町遺族会 事務局長

世羅町遺族会の運営に尽力されるところに、当遺族会の英霊顕彰運動に熱心に取り組み、第十回「戦没者を語る会」の講師を務めていただきました。織田 晃博氏が十二月二十九日、逝去されました。享年七十五歳。

ご生前の活動に心から感謝申し上げますとともに、謹んでご冥福をお祈りいたします。



小西 照枝女性部長開会挨拶

～遺族会館入居者の紹介～

1階から2階

「LAWSON 広島うらぶくろ店」

店長 三村 健志
コンビニといえば、LAWSON！
淹れたてコーヒー、デザート、
お弁当揃っております。
2階に広いイートインコーナー、
喫煙スペースもあります。

電話 082-298-8100



3階

「Ca1」(キャル)「美容室」

店長 伊藤 悠
かわいい空間の中で
Ca1にしかできない提案と
接客をこころがけています。

電話 082-249-3357



4階

「加圧トレーニングスタジオ Biplus Beauty」

店長 小林 しおり
広島初！ 女性専用加圧
トレーニングスタジオです。
興味のある方は一度体験しに
お越しください。

電話 082-569-6911

詳しくは <https://www.biplus-beauty.jp>



ホームページの活用について

当会では、事業の内容を広く知っていただくために、ホームページを開
設しています。会員をはじめ多くの遺族の皆様にご利用いただくことを願
っています。

ホームページの中 (HOME) に「ホームページのご利用方法」を設け
ました。より簡単に利用をしていただけたらと思います。

アドレス：<http://hiroshima-izokukai.jp>

閲覧機器：パソコン、スマートフォン、タブレット

閲覧方法：検索サイトで「一般財団法人 広島県遺族会」と入力し検索してください。